

令和４年度草津市自転車安全安心利用促進委員会 会議録

■日 時：令和４年７月２６日（火）９時３０分～１１時０５分

■場 所：さわやか保健センター１階 視聴覚室

■出席委員：１２名（順不同）

吉田委員、谷川委員、齊戸委員、江竜委員、獅子堂委員、前野委員、加藤委員、
深田委員、大西委員、奥田委員（村西代理）、鴻野委員、辻委員

■欠席委員：３名

梅村委員、中村委員、小川委員

■関係課：危機管理課、温暖化対策室、道路課、学校教育課、
草津川跡地整備課、土木管理課

■事務局：福留課長、三浦課長補佐、長尾係長、松尾主査、河村主任

■随行者：０名

■傍聴者：０名

1. 開会

【事務局】

《開会の挨拶》

【事務局】

《挨拶》

【事務局】

ありがとうございました。

次に、委員会の成立について御報告いたします。

本委員会の委員数は１５人で、現在の出席は１１人（後刻１２人）であります。これは、草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例施行規則第９条第１項に定める半数以上の出席を得ておりますことから、本委員会は成立しておりますことを御報告申し上げます。

また、本委員会については、草津市市民参加条例第９条第１２項の規定により、会議を開くものとし、同条第４項の規定により、会議録を公表することといたしますので、よろしくお願いいたします。

現在のところ、傍聴の方はおられません、念のため申し上げます。傍聴者の方について

は、会議の進行中の発言や食事等はできませんが、水分補給については適宜行っていただいてもかまいません。また、事務局の記録用を除いて、撮影や録音等はありません。その他、会議の進行の妨げとなるような行為をされた場合は、退出していただくことになります。

2. 委員および事務局の自己紹介

【事務局】

本日は、本年6月に皆様に委嘱させていただいてから初めての委員会開催でありますので、誠に恐れ入りますが、委員の皆様に自己紹介をお願いしたいと思います。できましたら、自転車に関する思いや、現在、自転車に対する取り組みなどがございましたら、その内容も含めてお話しいただければと思います。

それでは、早速ではございますが、吉田委員から委員名簿の順番で、お願いいたします。

《委員 自己紹介》

ありがとうございました。続きまして、事務局側の自己紹介をいたします。

《事務局 自己紹介》 《関係課紹介》

それでは、ここで資料の確認をさせていただきます。

お手持ちの資料を御確認ください。

本日の資料は、次第、委員名簿、席次表、資料1、資料2-1、2-2、資料3-1、3-2、資料4-1、4-2 ございます。

皆様、揃っていますでしょうか。もし資料が抜けておりましたら事務局までお申し出ください。

3. 草津市自転車の安全で安心な利用の促進に関する条例、同施行規則、

草津市自転車安全安心利用促進計画【概要版】について

【事務局】

続きまして、次第の3になりますが、次第の4、委員長および副委員長の選出、職務代理者の指名まで、事務局で進行をさせていただきますので、御了承ください。

本委員会について簡単に説明をさせていただきます。

本委員会は、条例第15条の規定に基づき設置しており、同条例施行規則第5条による委員で構成しております。草津市自転車安全安心利用促進計画について、自転車の安全で安心な利用の促進に関する施策の評価などを御審議いただくことになります。

4. 委員長及び副委員長の選出、職務代理者の指名

【事務局】

続きまして、次第の4であります、委員長および副委員長の選出、職務代理者の指名についてでございますが、まずはじめに、本委員会の委員の任期は2年となっております、新たにここにお集まりの委員の皆様方に、委嘱をさせていただいたところでございます。委員長および副委員長の選出につきましても、今回新たに選出させていただくこととなります。

その選出方法につきましては、条例施行規則第7条第2項において、委員長および副委員長は委員の互選によって定めとなっております。委員長、副委員長の選任につきまして、委員の皆様方から、何か御意見はございますでしょうか。

【委員】

事務局意見をお願いします。

【事務局】

ただ今、「事務局意見をお願いします」との声がありましたので、事務局の案を提示させていただきますと思います。

それでは、事務局の案を申し上げます。

前回までの任期の本委員会において、委員長を務めていただき、委員会を円滑に、また、わかりやすく進行していただきました、立命館大学理工学部の小川教授にお願いしたいと思っております。本日は御都合が合わず欠席いただいておりますが、事前に了承はいただいているところでございます。

また、副委員長につきましては、国の方でも自転車利用に関するガイドラインが策定されており、関係部署として日々御尽力いただいております、滋賀国道事務所の鴻野総括保全対策官にお願いしたいと思っております。

委員の皆様、いかがでしょうか。

それでは、委員の皆様の拍手をもって承認とさせていただきたいと思っております。

《拍手》

ありがとうございます。

それでは、委員長に小川委員、副委員長に鴻野委員をお願いしたいと思っております。鴻野委員は副委員長席への移動をお願いいたします。

それでは、副委員長に就任の御挨拶をいただきたいと思っております。副委員長よろしくお祈り申し上げます。

《副委員長 挨拶》

ありがとうございました。

続きまして、職務代理者の指名ですが、条例施行規則第7条第5項に、委員長があらかじめ指名するとなっており、本日は委員長が欠席となっておりますので、鴻野副委員長、職務代理者の指名をお願いいたします。

【副委員長】

職務代理者については、滋賀県において、自転車で琵琶湖を1周する「ビワイチ」事業が展開されている関係もありますので、滋賀県南部土木事務所の辻委員にお願いしたいと思います。

【事務局】

ありがとうございます。それでは鴻野副委員長にこれからの議事進行をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【副委員長】

それでは、これより私の方で議事を進めさせていただきます。

議事に入ります前に、委員の皆様が替わられたこともありますので、まず、事務局から、自転車安全安心利用促進計画の概要説明をしていただく方が良いかと思います。事務局から説明をお願いできますでしょうか。

【事務局】

お手元の資料2-1、2-2を御覧ください。

草津市自転車安全安心利用促進計画でございます。本日は資料2-1概要版で説明させていただきます。

《資料の説明》

【副委員長】

ただいま事務局から説明がありましたが、何か御質問はございますでしょうか。

何かございましたら議事の際にお願いいたします。

5. 議事

(1) 草津市自転車安全安心利用促進計画の各施策の実施状況等について

【副委員長】

それでは議事に入らせていただきます。

本日御審議いただく案件は2件でございます。一つ目は、草津市自転車安全安心利用促進計画の各施策の実施状況等についてとなっております。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは事務局より条例施行規則第4条に基づきまして、各施策の実施状況及び自己評価等について説明をさせていただきます。

《資料の説明》

【副委員長】

ただいま説明がありました、各施策の実施状況と自己評価について、何か御質問や御意見ございますか。

【委員】

今のスケアードストレート方式、安全利用教室ですが、もう少し具体的に効果はどうでしょうか。車の方から言いますと、交通戦争とか言われる時には安全講習会で、結構きつい映画とかビデオを鑑賞して効果があったと思っており、それと車自体の安全性の向上もありますので通減されていると言われていたますが、自転車の方ではハード的にできないところもある。そういったことから、乗る方のマナーの向上というか、そういう意識のことと思いますが、そういう意味で、このスケアードストレート方式というのはどのような効果があるのかなと、もう少し具体的にお願いしたいと思います。

【事務局】

御質問いただきましたスケアードストレート方式の、実際にどの程度反響があるのかというところですが、資料3-2の7ページから8ページに実際のスケアードストレート方式の写真を載せさせていただいております。

スケアードストレート方式ですが、実際にスタントマンの方が自転車に乗っているところを本当に車で轢く非常にインパクトの強い自転車安全安心利用教室になっております。

実際にスケアードストレートという意味合いが、スケアード＝恐怖をストレート＝直接体感するというようなものになっておりまして、この自転車教室の後にアンケートを実施させていただきますが、アンケートの中でも「非常にインパクトがあった」等反響が大きい

内容になっております。

スケアードストレート方式を実施したことが直接大きな要因であるかはわかりませんが、教室を実施した後、年度の後半にかけて交通事故が減少するといったところもございますので、一定自転車安全安心利用者教室による効果がみられると思っております。

【委員】

スケアードストレート方式、本校は一昨年、実際にやっていただきました。

子どもの感想としては、「非常に勉強になった」「よかった」という感想が多かったように思います。特に、実際にスタントマンさんがやっていただくのですが、車と自転車が衝突する場面を再現いただいて、その時に結構自転車がぐちゃぐちゃになります。その様子を見て子どもたちは、自転車っていうのは、体がモロ出しで、自動車というのは鉄の塊で、圧倒的に自分達が弱い。事故に遭った時は大変なことになるな。というのは、それを見て実感していると思います。それによって事故件数は減っているのかどうかということについてはわかりませんが、具体的な場면을再現していただいていますので、何らかの効果は必ずあると思います。

【委員】

ずっとお聞きしておりますと、晴れをイメージして指導をしていただいているように思います。雨の日、自転車は⑤のスマートを感じる施策とかでもいいことを書いておられると思いますが、高等学校とかでもあるのが雨の日の指導というのが結構大変でございまして、合羽を着てということになります。保護者の方が車で送ってこられるということもありまして、雨の日の自転車の活用ということもなかなか上手く進んでいかないのではないかなと考えているところがございますが、その辺のところをどのようにしようと考えておられるのか。

【事務局】

自転車の駐輪場の指定管理を交通政策課で実施をしているのですが、晴れの日と雨の日で自転車の利用件数も大きく異なっておりまして、雨の日に利用があまり促進されていないというのは事実でございます。一方で、傘さし運転など厳しく取り締まっているところがございますので、どうしても雨の日は合羽の着用が必須となってまいります。

今自転車の駐輪場におきましては草津駅西口、西口第2、第3、草津駅東口に駐輪場があるのですが、いずれも屋根ないし建物の中に自転車が止められるような構造になっておりまして、雨の日も基本的には濡れずに合羽を着脱できます。そういった形で雨の日でも御利用いただけるような環境整備に努めているところですが、冒頭に申し上げたとおり、実際には件数が減っているというところがあるので、今後どのように雨の日の利用推進を図っていくのかというのは検討していく必要があると認識しております。

【事務局】

少しだけ補足させていただきます。中学生の方というのは交通安全マナーアップ重点校というので2校ずつ指定させていただきまして指導にあたっていると思いますが、これは当然雨の日も生徒会が中心となって、指導にあたっていると思いますので、傘さし運転はダメと指導をして、啓発部分については継続して取り組んでるところでございます。

雨の日に自転車利用が減ることについては、逆に駅を御利用いただいている方であれば自動車で駅前まで送迎をされるということになります。委員会からはずれるかもしれませんが、全体で考えますと交通渋滞が発生するという話になりまして、これは大きな課題であり、継続的に渋滞対策に取り組んでいるところですが、自転車の側面からそういったことを上手く解決できないかという部分と、交通渋滞が起こると速達性が落ちて、事故も増えていくという悪循環がでけますので、これらについては大きな課題として認識しておりますので、今後取組を進めていきたいと考えております。

【委員】

草津市が中心で取り組まれているこの自転車安全安心自転車利用促進計画の成果と盗難件数、一定の成果が出て非常にうれしく思います。3点ありますが、日常生活で思うところで、先ずは歩道ですが、自転車と歩行者が区分けされているのですが、どちらが自転車でどちらが歩行者かというのが明確になってないところが、たまに見受けられ、迷います。

自転車の方も迷っておられて、道の方へ行ったら同じように行かれていてということがあるので、先ず歩道の方の明確化、といったところの整備というのも進めていただきたい。

それとスケアードストレート方式ですが、これは中学校では3年に1回とかのサイクルで実施されているのでしょうか教えていただきたい。

3点目、高齢者の方、やはり足腰が弱られてきている中でも自転車の方が楽だと利用されているのですが、見ていると危なっかしい方とかおられるのですが、そういった方への三輪自転車の利用促進はどうでしょうか。三輪自転車が安全かどうかは分からないところはあるのですが、そういった取り組みはどうでしょうか。

是非詳しい方の御意見を伺いたいと思います。

【事務局】

まずは、歩道の中で歩行者と自転車の区分が明示されている場合ですが、基本的には分けさせていただいているところは、路面か上に表示があるはずですが、一部消えかかっているところがありましたら今後維持補修の中で対応させていただければと思います。

また、先ほどのネットワーク計画の中で順次取り組めればと思っておりますので長い目で見ていただければと思います。

続きましてスケアードストレート方式ですが、市内6中学校を2校ずつ3年サイクルで

実施させていただいておりまして、基本的には卒業するまでには1度、その中学校で実施されることになります。

最後に高齢者の三輪自転車ですけれども、検討したことがありませんでしたので、おっしゃっていただいて新しい取組と認識したところでございます。

高齢者の方につきましては、以前は高齢者師範学校という名称だったのですが、今はシニアアカレージの中で、自転車のシミュレーターを通じて技術面の向上などに取り組んでいるところですが、そもそも自転車自体が安全なものに変えられるのであれば、そういった取り組みも今後検討していきたいと思います。

【委員】

先ほどまでのスケアードストレート等の話を聞いている中で、中学生や高校生の学生に対して行われているというところがメインになると思うのですが、私自身も車や原付に乗っていると、信号のないところの横断について、学生というより、大人の方が車が来ているのにも関わらず横断することが多いと感じています。

スケアードストレート等は、私も小中学生のころに見たことがありまして、かなり印象に残っているのですが、大人に対して行うことはありますか。

免許更新の時とかビデオで、危険な所とか巻き込み事故等、交通安全の自転車に関することなどですることはありますが、何か大人に対する計画等がありますか。

【事務局】

社会人へのアプローチですが、現状としましては、先程の自転車安全安心利用教室につきましては、スケアードストレート方式というのがマナーアップ重点校という中学校を対象にさせていただいているものでございます。

もうひとつ出前講座という形で町内会等から依頼があれば、そのような教室を開催させていただきます。また、社会人へのアプローチとして、今年度は、企業で働いている従業員の方へ自転車の教室をすることが出来ればと考えているところです。

【委員】

事故件数というのを3-2でアップしていただいています、自転車事故にどういう事故が多いのかというのが具体的にわかっていれば教えてください。自転車が自発的に転んでしまったり、マナーが悪いことであれば防げますが、こちらの内容を見ていると、仮に車と自転車の接触事故の場合、どうしても防げない事故が多いと思います。その時にルールを守っていると子どもは安全かというと、たぶん巻き込まれたりしてしまうことが多いと思います。子どもが安全に現場を通りきることが出来る道を整備するということが、子どもはこの道を通れば安全だとか、ここで止まっていれば安全とか、できるのですが、車と自転車がぶつかる所では車が強引に行くことが多分にあるのかなと、そうしたときに、どの

ように防げる仕組みを考えていらっしゃるのか教えてください。

【委員】

大人の方への啓発の話と、それから自動車と自転車の事故の話が出たので、少し話させていただきますと、中学生で事故を起こした場合多くが自動車と接触したというものなのですが、学校で困っているのが、警察に報告しないまま登校してしまうことが非常に多いことです。

中学生は携帯電話を持っておりませんので、当然接触した場合には自動車側の大人が警察に通報して事故処理をしなければならないが、中学生は事故に遭った時に、大きな怪我をしていなければ、ほとんどの場合が「大丈夫です。」と答えます。

それで大人は「ああそうか。」とスッとその場を去ってしまう。「大丈夫やね。ごめんね」って去ってしまいます。

学校へ来て、擦りむいたから治療してくださいということで保健室に来た時に、自動車とぶつかったことがわかり、学校側が保護者と連絡を取って、その後警察にお話して現場検証をしてというようなことがかなり多い。免許を持っているものは、自転車は車両であるという認識を持って、当たった時は交通事故ですので、警察に言いなさいと常に言っていますが、なかなか踏み切れない。

大人に対するそういった啓発とか、車と自転車の事故の時の対応であるとかそういうところをもう少しきちっとやって行ったらいいかなと思っておりました。

【事務局】

どういった事故が多いのかということですが、事故の多くは交差点での出会い頭の事故と認識しております。対策と事故が起こった後の対応ですが、中学校になります、マナーアップ重点校においては、指定をさせていただいた中学校において、ヒヤリハットマップ、出会い頭の事故を防げるようなマップの作製を生徒主体で行っていただいております、事故が起こりやすい場所を生徒自身が見つけて、マップを作っていくという形で、自分で気を付けるような意識の醸成を図っているところであります。

実際に対応というところですが、なかなか出会い頭の事故で見通しの悪いような所の対応というのは正直難しいというのが現状です。別件ではありますが、警察と地元と交通政策課で連携をして、エリア内に30キロの速度制限をかける「ゾーン30」という制度があります。

30キロの制限と併せて、ハンプ等の物理的対策を行い、実行力を高めているというような制度になっておりますが、規制や物理的な対策を嫌がる住民さんも一定数いらっしゃるところで、設定に当たっては必ず町内会で意思の統一をしていただいた上で要望をいただくとしておりますので、簡単に出来るものではありませんが、そういった取り組みもありま

す。

実際に事故が起こった後の対応ですが、本来であれば大人の方がきちんとした対応をとって、頭を打って入れば救急車を呼ぶ。ですとか、事故ですので警察に通報することが必要かと思います。

今後、先程申し上げた社会人への啓発の教室の中で、自転車への取組だけでは無く、広く交通マナーについても触れる機会を設けさせていただきたいと思います。

【委員】

ヒヤリハットマップを作っておられるということで、それが草津市や警察の方で共有されているか。何を言いたいのかといいますと、生徒側は危ないというのを自覚していると思いますが、大人側からするとどこが危ないかというのがなかなかわかりにくいということで、バリケードとか設置をされるということも良いのですが、なんか標識みたいな物や、黄色い看板みたいな物がついていたりとか、そのあたりが出来るだけ共有して危ないよということが大人にも分かるように出来たらいいのに、と思いました。

【副委員長】

意見が色々活発に出ておりますが、時間の方もございますので、次にいかせていただきたいと思います。

(2) シェアサイクル事業について

【副委員長】

その他案件として、シェアサイクル事業について事務局からお願いします。

【事務局】

シェアサイクル事業について説明させていただきます。資料は4-1、4-2になります。

《資料の説明》

【委員】

シェアサイクルは観光地などで行われていることかと思います。草津市の地理的に、湖畔の方へ行くと比較的平坦地でシェアサイクルも普通の自転車で行くことが出来るかなと思うのですが、大学へ行くことを考えると電動自転車でないとなかなか坂を登れないので、使いたくないですという人が出てきたり、健康維持増進ということであれば高齢者の方が使われることが前提にされているかなと、そのあたり元々どちらの自転車で設定をされているのかわ

からないのですが、対象は市民の方だとは思うので、そのあたりをはっきりさせておかないと導入コストにバラつきがでたりだとか、使う人使わない人の差がものすごいことになってくることになるかなと思ったのですがいかがでしょうか。

【事務局】

導入を予定している自転車ですが、現状見込んでいる経費の中では電動自転車で見込んであります。立地の観点で草津市は大きな大学が山の上にございますので、大学生の方に利用していただこうと思うと普通の自転車では利用が難しいと思いますので電動自転車を考えております。

最近フリーパワーといった電動ではなくても通常の自転車よりは乗りやすいものが開発されておりますので、自転車導入にあたりましては普通の自転車の導入もちろん可能ですが、こういった自転車の導入も検討しておりました。

【委員】

先ほど通勤というお話が出たのですが、通勤は朝、駅から企業、また夕方、企業から駅という、大量の人が移動することになるが、シェアサイクルのイメージは、いろんな拠点があって、そこを自由に乗り捨てができるという観光的なイメージがある。これがシェアサイクルの目的であって、それなら駐輪場をしっかりと整備して企業とやり取りして自転車で行きましょうって、自分の自転車で行った方がいいのではないかと思います。

それと観光でやるというところで、大津では一時期シェアサイクルを実施されていたところがあったのですが、いつの間にか消えてしまった。ターゲットをどうするのかというところが難しいなと思います。

【事務局】

シェアサイクルですが、自転車が回遊するというのが一番効率的な運用になります。この予算の中ですが、上から3つ目再配置人件費というのが大きな金額を占めておりまして、今のこの運用ですと、朝、駅から事業所ないし大学へ大量の自転車が移動した後、その事業所ないし大学で大量の自転車が夕方帰られるまで稼働しないことになりまして、そうすると各ポートの自転車に不均衡が生じますので再配置をする必要が出てまいります。

自転車は勝手には回遊しないので無理やり回遊させるというところにシェアサイクル導入の難しさがあると思います。

御指摘のとおり、マイ自転車、あるいはレンタサイクルを拡充していくといった手段の検討もする必要があると認識しているところです。

今回はシェアサイクルというものが新しい概念ではないのですが、最近大津市で実証実験をされておられたり、かつては中国の企業がシェアサイクルを展開されておられて、気づいたら撤退されてたこともありましたが、草津市においても新たな取り組みの一つとして、自転

車の利用促進の啓発も兼ねて、導入の検討ができないかということでアンケート調査させていただいた次第です。

【委員】

大企業のヒアリング結果というのは納得をしているところですが、企業の観点からしますと導入自体はできるのですが、昨今テレワークが推奨されており、今日誰が来るかわからないという状況から見込んでいた数よりも少ないことがある。実際何個ポートを用意したらいいかわからない。また、テレワークの普及により、読めなくなってきた。結局通勤そのものがなくなってきたということもある。ID が無ければ入れませんが、ポートを設置するだけであれば、外に設置するというやり方で大丈夫のはずですが。

もう一つ、さっきの課題に対して、交通渋滞を緩和したいというところでの答えがシェアサイクルだということからすると、交通渋滞ってデイリーな問題ですので、特にバイパスや国道が本当に混みます。どういう人に使って欲しいのか、どういう交通渋滞を緩和したいのかというと、普段使いの人達が車に乗っています。

その人達がどういう人かということ、感覚的に電動だと4キロくらいであればなんとか行けるので、そういう人達は、雨の日はちょっと難しいかもしれませんが、近場にマイ自転車持っているのではないのでしょうか。車でなくてはダメな人はというと、京都まで車で行っているとか、栗東・守山まで車で行くなど、なかなか自転車で10キロ、20キロというのが難しい場合かと思います。そこが一つ課題ではないのでしょうか。

もう一つは、雨の日に車があふれかえるじゃないですか、その人達の目的は送迎、子どもとか旦那さんを駅まで送る人達ですね。この人たちにこのレンタサイクルをどうにか使ってもらえないかなというふうに考えながら話をききました。

子育てしている立場からしますと、子どもの習い事毎に、親が全部ついていくというのが結構ハードルが高いので、そこが安心して子どもが習い事までは自転車が使えればいいと思います。そうすると毎日ではないが、少し回転が見込めるのではないのでしょうか。塾は夕方だけで、昼間遊びに行くのは少し時間がずれている。時間差でなにか出来ないかなということを思っていました。

小学校中学年以上の子が自分で行ける距離で、道路が整備されていると安心して塾とか習い事に行けるのではないかな。塾もこういう取り組みを推進していますよというアピールも出来るかもしれないと思っています。

【事務局】

自動車の利用で長距離を自転車だけに置き換えるというのは非常に困難であると考えており、このシェアサイクルにおいても想定されるのは、電車とかバスから乗り換え、ラストワンマイル、乗り換えが主たるところになるのかなと認識しているところであります。また、駅周辺の渋滞におきましても、自転車の取組だけではないですが、課題としては認識してお

りまして、今後ロータリーのより良い形への改修などを検討しているところでございます。

最後に普段使いのところですが、塾といったところも、マイ自転車になってしまうかもしれませんが、御指摘のとおり、駅から大学へ、といった自転車の流れがあった時に、反対に大学周辺から駅に向かうような導線を作ってあげるというのも、回遊を促すための考え方としてはあるのかなと思います。駅周辺に日中、大学生が大学に置いた自転車を活用して駅周辺に向かうような何かを駅周辺に整備するようなことも導入するとなれば検討していく必要があるのかなと思います。

【副委員長】

シェアサイクル事業については、貴重な御意見をいただきましたので、それを踏まえて事務局で検討いただきますようよろしくお願いします。

最後に議事全体や議事以外の自転車利用に関する事柄でも結構ですので、委員の皆様方から御意見等はございませんでしょうか。

【委員】

基本方針4の厳しさを感じるというところがありますが、資料2-2の49ページにある違反者に対する指導取締りの強化というところにある。先程見せていただいた、この券は事故を起こさないともらえないのですか。もしもらえるところがあれば、もう少し知りたいなと思いました。

【事務局】

先ほどお見せさせていただいたものは防犯診断というものでありまして、駐輪場とかで、自転車安全安心指導員さんが回っていただいた際に施錠ですとかを啓発するようなものになっております。

【副委員長】

他にございませんでしょうか。

なければ、本日の議事は終了いたしますので、事務局へお返しします。

6. 閉会

【事務局】

鴻野副委員長におかれましては、議事進行の大役、誠にありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても、活発な議論、貴重な御意見を賜りましたことに厚くお礼申し上げます。

本日いろんな視点から御意見をいただきましたので、これから各事業を取り組んでいくにあたりましてそういった視点も踏まえて進めていければと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

それでは、これもちまして、令和4年度の草津市自転車安全安心利用促進委員会を終了いたします。皆様、どうもありがとうございました。

(閉会)